

今月の特集

箱館五稜郭の戦いと 土方歳三

函館の地に散った
最後の新選組



新選組の土方歳三

写真出典：国立国会図書館

珍しい星型のお城・五稜郭



五稜郭といえば函館の有名な観光スポットです。
JR函館駅からバスで10分ほどの場所にあり、春は咲き誇るソメイヨシノ、冬はライトアップされた美しいお堀。近隣にある五稜郭タワーも含めて「五稜郭公園」として整備され、若者から家族連れまで幅広い人



復元された奉行所 beilbaoke / Shutterstock.com

気を集めています。

そんな五稜郭ですが、ここは幕末の戊辰戦争で新政府軍と旧幕府軍の最後の激戦地だった場所。また新撰組・土方歳三の最期の地としても知られています。

今回はそんな五稜郭公園を散策しながら、幕末から明治の歴史をたどってみたいと思います。

五稜郭は1857年（安政4年）から江戸幕府によって建設が開始された稜堡式要塞（星型の城郭）です。築城の目的は、ペリーの来航以来、頻繁に出没するようになった外国船の侵略から蝦夷地（北海道）を守る

ため。

稜堡式要塞とは15世紀のイタリアで始まった築城方式で、ヨーロッパの国々にはしばしば見られるものの、日本ではかなり珍しいデザインのお城といえます。なぜ星の形をしているかというと、星型の先端に大砲を設置して防御を強固にするため。設計したのは蘭学者・武田斐三郎という人物で、なんとオランダ語で書かれた一冊の築城書だけを参考に、五稜郭を設計したといえます。工事が完成したのは1864年（元治元年）のこと。幕府滅亡のわずか4年前でした。

五稜郭は外周が約1・8Km、敷地面積は125,500平方mで、東京ドームの約3倍の広さだとか。実際に歩いてみると、入り口から10分以上歩いて、ようやく中心にある箱館奉行所に到着です。

箱館奉行所は蝦夷地の開拓や外交を目的とした江戸幕府の役所。明治になって解体されましたが、2010年（平成22年）に復元されました。屋根に乗った太鼓櫓（たいこやぐら）が印象的な日本家屋です。そしてここは戊辰戦争の際、土方歳三たち旧幕府軍が立てこもって本

陣を敷いた場所でもあります。

戊辰戦争とは江戸時代末期、天皇を中心とした新しい国家造りを目指し薩摩藩・長州藩を中心とする新政府軍と、旧幕府軍が戦った内戦のこと。

戦争が始まった1868年（慶応4年）の干支が戊辰であることから戊辰戦争といわれています。

まず京都郊外の鳥羽・伏見の地で戦いが勃発します。その後、旧幕府軍は敗戦を繰り返して、江戸城無血開城、会津などを巻き込んだ東北戦争、長岡藩が戦った北越戦争と、しだいに北へ追い詰められていきました。そして最後に旧幕府軍がたどり着いたのが、箱館の五稜郭だったというわけです。

土方歳三、最期の地

五稜郭といえば、新選組の土方歳三を思い出す人も多いのではないのでしょうか。

～箱館五稜郭の年表～

1854年	日米和親条約により箱館が開港。
1857年	武田斐三郎の設計による五稜郭の建設開始。
1861年	五稜郭内に箱館奉行所の建設を始める。
1864年	五稜郭がほぼ完成し、奉行所の業務を開始する。
1866年	付帯設備など、すべての工事が完成。
1868年	戊辰戦争が勃発。榎本武揚らが五稜郭を占拠。
1869年	旧幕府軍が降伏し、戊辰戦争が終結する。
1873年	明治政府陸軍省の所轄となり、練兵場となる。
1913年	大規模なソメイヨシノの植樹が行われる。
1964年	五稜郭タワーが開業。
2010年	奉行所が復元され、観光スポットとして人気に。

新政府軍との戦いで近藤勇はじめ、多くの新選組隊士を失った土方は、榎本武揚の率いる旧幕府軍と合流して箱館へと渡ります。

榎本は、幕府が滅び行き場のなくなった武士たちのために、北海道を開拓して「蝦夷共和国」を建国しようとしていました。

五稜郭に立てこもった旧幕府軍は、榎本指揮のもと新政府軍と戦い続けましたが、1869年（明治2年）5月に土方歳三が戦死。その後、旧幕府軍は降伏して戊辰戦争が終結したのです。

土方歳三は武蔵国石田村（現・東京都日野市）の農家の出身で、同郷出身の近藤勇らと新選組を作り、京

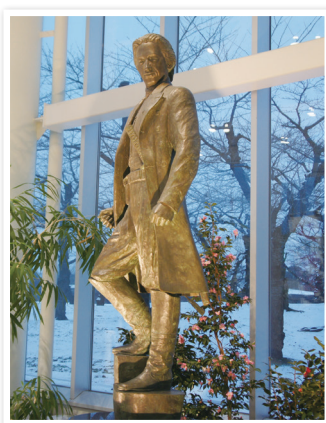
都市中の治安維持に勤めました。

彼は新選組一の「イケメン」として名高く、その当時から京都の女性たちに人気があったといえます。現存する軍服姿の肖像写真も、なるほど美男子です。

剣の腕前では「鬼の土方」と恐れられていましたが、「豊玉」という雅号を持ち和歌や俳句をたしなむ粋人でもありました。このあたりが女性を魅了する所以なのかもしれません。

五稜郭公園のそばにある五稜郭タワーには、なんと土方歳三の立像・座像・胸像と3つの像があり、その人気の高さを物語っています。

ちなみに「五稜郭戦争」といわれますが、五稜郭の本体も艦砲射撃による攻撃は受けたものの、ほとんどの戦闘は弁天台場など五稜郭の近郊で起こっています。土方歳三は戦っ



五稜郭タワーにある土方歳三の立像

ている仲間の援軍に向かう途中、馬上を鉄砲で撃たれ戦死したといわれています。敵味方入り乱れての戦闘中に戦死したわけではないのです。

この銃撃についても諸説あり、潜んでいた新政府軍のスパイパーに狙われたという説や、味方の裏切りにあつて後ろから銃撃されたという説もあるのだとか。土方歳三があまりにも血気盛んで戦争をやめないため、嫌気がさした旧幕府軍の仲間によって銃撃されたというのです。

そもそも「蝦夷共和国」の樹立を目指した榎本武揚たちと、武士として死に場所を求めた土方歳三では、考え方に大きな隔たりがあつたのかもしれません。

彼の遺体は他の戦死者とともに五稜郭内に埋葬されたとも、別の場所に移されたともいわれていますが、いまだその場所は特定されていません。享年35歳。榎本武揚ら旧幕府軍が降伏したのは、それからわずか6日後のことでした。

歳三が銃弾に倒れた一本木関門跡近くの若松緑地公園には、土方歳三最期の地と彫られた石碑があり、いまでも花を手向ける人が絶えないそうです。

観光地として復活した五稜郭

1964年（昭和39年）、五稜郭築城100年を記念して、高さ60mの五稜郭タワーが建設されました。

また1970年（昭和45年）からは毎年5月に「箱館五稜郭祭」が行われ、函館市民の人気を博しています。

ちなみに江戸時代までは「箱館」で現在は「函館」と表記します。明治初期の頃に変わったようですが、理由は不明とのこと。

五稜郭は2004年（平成16年）に「五稜郭と箱館戦争の遺構」として北海道遺産に選定されたほか、ミ



五稜郭タワーからの眺め Shawn.ccf / Shutterstock.com



シユラン・グリーンガイド・ジャパンにおいても「五稜郭跡」「五稜郭の眺望」が2つ星を獲得しています。毎年冬になると五稜郭がライトアップされる「五稜星の夢」が行われ、その美しさは筆舌尽くしがたいほどとか。

あなたもぜひ北海道函館市を訪れ、男たちの夢の跡をたどってみてはいかが？

(了)